

多文化共生に関する外国人市民ヒアリング調査結果

1 調査の目的

「丹波市多文化共生推進基本方針」の策定や外国人市民の受入環境整備等の多文化共生施策に生かすことを目的として実施した。

2 対象

春日日本語教室「ようこそ」で学習している外国人市民 10 人

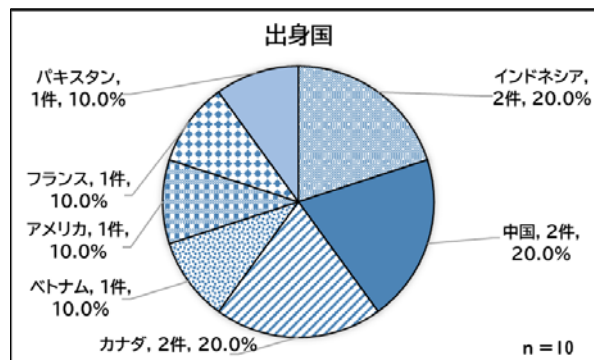
3 調査日

令和5年12月14日

【基本情報】

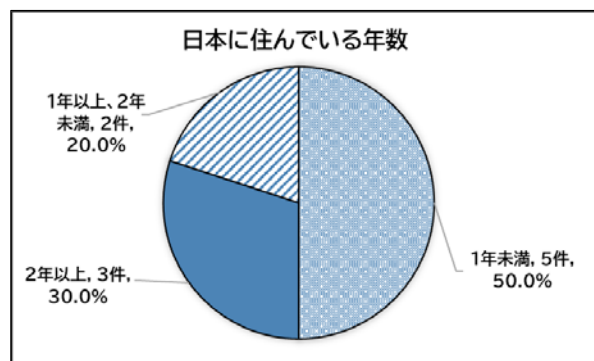
●出身国

インドネシア	2件
中国	2件
カナダ	2件
ベトナム	1件
アメリカ	1件
フランス	1件
パキスタン	1件
合計	10件



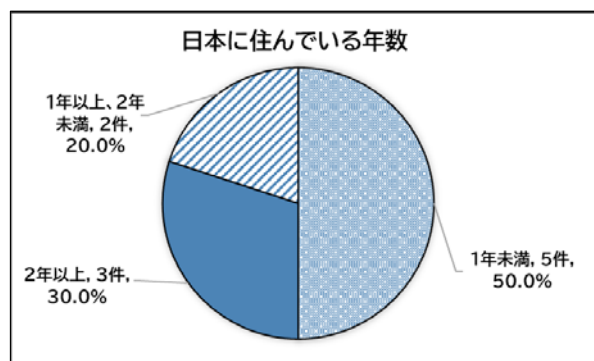
●日本に住んでいる年数

1年未満	5件
1年以上、2年未満	2件
2年以上	3件
合計	10件



●どこから日本語教室に来ているか

柏原町	5件
春日町	3件
氷上町	1件
市島町	1件
合計	10件



【市が発信している情報について】

●回答内容（抜粋）

- ・市の広報紙を見ています。
- ・国際交流協会の公式 LINE を通じて市の情報を確認しています。
- ・勤務先の人から生活に関する情報を教えてもらっています。
- ・広報紙や LINE は見ていません。分からないことは、翻訳アプリで調べています。

【「やさしい日本語」について】

●回答内容（抜粋）

- ・ひらがなの方が読みやすいので良いです。

- ・市役所の文章は難しいです。「やさしい日本語」だと分かりやすいので、「やさしい日本語」で情報が欲しいです。
- ・普通の日本語の文章は難しいです。ひらがなになっていたら分かりやすいです。
- ・「やさしい日本語」が良いです。英語だともっと嬉しいです。

【日本語教室について】

●回答内容（抜粋）

- ・日本語が勉強できますし、色々な人にも会えるのも良いところです。
- ・日本語教室は大事です。職場では誰かと話をする事がないので、日本語教室がしっかりとコミュニケーションを取れる場になっています。
- ・私は家から車で通っていますが、車に乗れない人のために他の教室があればよいと思います。

【地域との交流について】

●回答内容（抜粋）

- ・今のところ、地域の人と交流することはありませんが、地域の人と話したり、祭りなどの行事に参加してみたいです。
- ・地域のおばあちゃんに英語を教えてあげたことがあります。これからもコミュニケーションを取りたいです。
- ・地元の「おみこし」に参加したことがあります。

【困っていることについて】

●回答内容（抜粋）

- ・歯が折れた時は会社の人に助けてもらいました。他に困りごとがあったときはインターネットで検索しています。
- ・母国では、ごみを分別する文化が無かったので、住み始めた時は分からなくて困りました。また、日本の食べ物についても全然知らなかったなので、最初は困りました。市役所に行くときは会社の担当の人と一緒に行くので手続きができますが、そうでない外国人は分からないので、市役所で通訳を受けられると良いと思います。
- ・日本語が話せなくて困っています。生活上の困りごとがあった時は、自分より先に日本に来ている同郷の友達に相談します。私の友達のことですが、日本語教室が春日に1つしかなくて困っていると言っていました。

【今後も丹波市に住み続けたいかについて】

●回答内容（抜粋）

- ・これからも丹波市に住みたいです。他のところに引っ越したいとは思いません。
- ・今後も住みたいです。10月に子どもが生まれて、妻と一緒に子育てをしています。
- ・在留期間が終わってからはわかりませんが、それまでは丹波市に住みたいです。